

青少年相談センターだより

富士市青少年相談センター

静岡県富士市八代町1番1号 富士市教育プラザ内

電話<0545>52-4152

FAX <0545>52-3737

令和6年度 第1号



『居たい 行きたい やってみたい』

富士市青少年相談センター 所長 田中 亘

令和6年4月1日より富士市青少年相談センター所長を務めることになりました。よろしくお願
いいたします。同じセンターに3年間、相談員として勤務していましたが、立場が違っただけでこん
なにも責任が重くなるのかと驚きと戸惑いの日々が続いています。

さて、相談センターの主な事業の一つに「ステップスクール・ふじ」の運営があります。「ステッ
プスクール・ふじ」では、様々な理由によって、学校に行けない子ども(小中学生)たちや登校しに
くい子どもたちに、時間と場所を提供し、集団生活やカウンセリングを通して、社会的に自立して
いくための支援を行っています。敢えて学校復帰を目的とはしないで、支援の結果として学校復帰
ができれば望ましいと考えています。それならば、目的は何かというと2つあります。

1つ目は、「子どもの居場所になる」です。私たちが考える居場所とは、子どもたちが『居たい
行きたい やってみたい』と思える場所です。不登校の子どもにとっては、学校が居場所になっ
ていないわけですから、「ステップスクール・ふじ」が代わりの居場所になればと願っています。私
たちが一番心配しているのは、子どもが家に引きこもってしまうことです。家から出られない、家族
としかかかわりがもてない子どもになってほしくありません。なぜなら、人とつながることは楽し
いですし、人とつながることで学ぶことができるからです。

2つ目は、「社会的自立を目指す」です。子どもは成長して誰もが大人になります。大人になれば、
一人の人間として社会の中で生きていかなければなりません。そのとき、何が必要かと問われたら、
私たちは「自立していること」と答えます。では、自立とは何かと問われたら、その答えは人によっ
て違っかもしれませんが、私たちは、「自分で考える 自分で決める 困ったら人に訊いたり、助
けをもとめたりできること」と考えています。自分の居場所の中で、自分のペースで、自分なりの
方法で、自立を目指してほしいと願っています。そのための支援をしているのが「ステップスクー
ル・ふじ」です。

昨年度末の時点で、「不登校」というくくりの中に入る子どもは、富士市全体で900人に迫り、「ス
テップスクール・ふじ」を利用した子どもは、2年連続で100名を超えています。のべ利用者数は
一昨年度を約1000人上回りました。小学生の利用者が急増していることが増加の一因だと思われ
ます。昨年度を見ますと、新規利用者の子どもの割合は約70%になります。新たに不登校の子ど
もを出さないことが、不登校の減少につながるかもしれません。学校は集団生活ですから個々の子
どもにとってストレスとなる要因は必ずあると思いますが、学校には学校にしかない魅力がありま
す。相談センターとしては、今まで以上に学校との連携を充実させ、学校が子どもにとっての居場
所『居たい 行きたい やってみたい』場所になるよう協力していきたいと考えています。また、
「ステップスクール・ふじ」が不登校の子どもにとって、安心できる居場所になるように努めていき
ます。

職員紹介

所 長：田中 亘
 統括主幹：鈴木 弘之
 主 査：芦澤 歩美
 主任相談員：松永 正之
 青少年相談員：磯野 和彦、関 美千代、前島 英喜
 青少年育成員：遠藤 勝秋
 青少年指導員：竹田 文美、山本 美佐枝
 青少年サポート員：佐野 倫子、石川 須美子
 学校サポート支援員：武井 幸治、守谷 実
 業務補助員：松田 敏明

「ステップスクール・ふじ」

令和5年度利用者の状況

小学生		49人
中学生	(1年生)	(15人)
	(2年生)	(21人)
	(3年生)	(34人)
小計		70人
利用児童生徒数 合計		119人

《S63開設》

令和5年度「ほっとテレフォン・ふじ」相談件数

【S57. 7. 29開設】

曜日別

	月	火	水	木	金	合計
件数	26	7	27	5	12	77
日数	45	50	47	48	48	238
平均	0.58	0.14	0.57	0.10	0.25	0.32

通話時間別

時間	10分以内	10超～20分	20超～30分	30分超	合計
件数	69	4	3	1	77
内無言	46	0	0	0	46

学識別、内容別

	小学生	中学生	高校生	他学生	有職	無職	保護者	祖父母	一般	層不明	合計
A. 学校生活	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
B. 対人関係	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	2
C. 進路適性	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
D. 不登校	0	0	0	0	0	0	7	1	0	0	8
E. 心身発達	0	1	5	1	0	1	4	1	0	0	13
F. 無言	0	0	0	0	0	0	0	0	0	46	46
G. その他	0	1	1	0	0	0	2	0	1	2	7
合計	0	2	7	1	0	1	14	2	2	48	77

☒ メール相談
 受信件数1件
 不登校に関する相談

令和5年度「ホッとデジタル相談・ふじ」相談件数

《R5. 2月開始》

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
相談件数(件)	12	76	101	103	37	59	74	76	72	56	62	45	773

令和5年度 青少年指導委員による補導活動

《S42開始》

区 分	回数	参加人数	声掛け
通常補導（地区巡回）	735回	2,331人	69件
祭典補導 （祇園祭・富士まつり・甲子秋まつり・毘沙門天大祭）	4回	205人	5件
大型店舗特別補導	1回	23人	—
補導措置会議	12回	341人	—
合 計	752回	2,900人	74件

各地区から推薦された青少年指導委員126名で補導活動を行った。補導の際には、小中学校との情報交換等の機会を設け、子どもたちの状況把握に努めた。
※青少年指導委員会は令和6年3月解散
青少年指導委員活動は継続

愛称「ココ☆カラ」の名称の由来

今まで、誰にも言えない悩みを抱えたり、様々な理由により辛い思いをしてきたりした若者が、この窓口（ココ）から、ココロとカラダを元気にして、羽ばたいてほしいという願いを込めて名付けた。

若者相談窓口「ココ☆カラ」実績データ

《H27開設》

年度	相談			伴走支援（件）	アウトリーチ		居場所支援（人）	就労（件）	家族会（人）	フォローアップ（人）	合同相談会		若者サポーター養成講座（人）
	新規（件）	継続（件）	計（件）		人数（人）	回数（回）					8月	2月	
令和5年度	111	733	844	408	49	400	3,408	34	171	140	110組 149人	62組 100人	78

合同相談会

R5. 8. 19(土)

R6. 2. 17(土)

若者サポーター養成講座

R5. 7. 8(土)

R6. 1. 20(土)

44人

34人

6月～8月の行事予定

6月	7(金) 臨床心理士来所相談	7月	1(月) 補導連絡協議会	8月	3(土) 家族会
	8(土) 吉原祇園祭祭典補導～9(日)		6(土) 若者サポーター養成講座		フォローアップミーティング
	家族会		家族会		17(土) 合同相談会
	フォローアップミーティング		フォローアップミーティング		27(火) 臨床心理士来所相談
	11(火) 臨床心理士来所相談		9(火) 体験学習（カレーづくり）		
	14(金) 運営協議会		不登校対策連絡会		
	25(火) 臨床心理士来所相談		12(金) 臨床心理士来所相談		
7月		7月	18(木) 青少年対策連絡会	8月	
			26(金) 保護者教室		
			28(日) 富士まつり中央補導		

～青少年相談センターはこんな仕事をしています～

1 青少年相談事業

【面談・相談】

- 学校生活や進路に関すること
- 不登校に関すること
- いじめや友人関係に関すること
- 養育や生活態度・性格に関すること
- 非行や性の悩みに関すること
- その他青少年に関すること

《受付時間》9:30～16:30

(土日祝・年末年始を除く)

事前に相談センターに申し込んでください。

【ステップスクール・ふじ】《S63開設》

不登校児童生徒に時間と場所を提供し、一人一人に応じた支援を進める中で、児童生徒が自らの進路を主体的に捉えて、社会的に自立していくための支援をしています。

《利用時間》8:00～18:00

- 学習○体験学習○創作活動
- スポーツ○保護者懇談会 など

【電話相談】《S63開設》

学校生活や友人関係、進路、非行や不登校等、

「ほっとテレフォン・ふじ」

9:30～16:30 (土日祝・年末年始を除く)

電話 0545(51)3741 またはメールで

e-mail : ky-soudan@div.city.fuji.shizuoka.jp

【ほっとデジタル相談・ふじ】(令和5年2月1日開始)
小中学校の全児童生徒に配付しているタブレットを利用した相談ツールで時間と場所を気にせず、困りごとなどを相談できます。

【臨床心理士来所相談】

月2～3回臨床心理士の先生に、子育てや発達についての悩みを相談することができます。予約制ですので、日程及び申し込みについては、青少年相談センターまでお問合せください。

【保護者教室】

お子さんが学校に行くことができずにいる保護者のみなさんが集まって、悩みや不安を共有したり、情報交換をしたりする会です。不登校の家族の会の方の経験談も聞くことができます。

日程につきましては、青少年相談センターまでお問合せください。

2 青少年非行防止事業

- 青少年指導委員による補導活動《S42から》
- 青少年健全育成活動
- 環境浄化活動

3 子ども・若者育成支援事業

【富士市若者相談窓口「ココ☆カラ」】《H27開設》

概ね中学校卒業から39歳までの、ニート、ひきこもり、不登校など社会生活に困難を抱える若者とそのご家族の支援を行っています。
《受付時間》9:00～17:00(火～土曜日)
(祝日・年末年始を除く)

住所 富士市八代町1番1号
富士市教育プラザ内

電話 0545(55)0562

e-mail : f-wakamono@chive.ocn.ne.jp

富士市青少年相談センター

住所 富士市八代町1番1号
富士市教育プラザ内

電話 0545(52)4152

FAX 0545(52)3737

e-mail : ky-soudan@div.city.fuji.shizuoka.jp

- 富士警察署北側
- 岳南電車ジャトコ前駅より徒歩2分